

総説

肥満を有する成人喘息患者の病態と治療への展望

党 雅子¹⁾

黨 康夫²⁾

所属

- 1) 獨協医科大学埼玉医療センター臨床検査部
- 2) 同愛記念病院アレルギー呼吸器科

要旨

肥満は、気管支喘息の発症と重症化に寄与していることが明らかになってきた。しかし、その機序は十分には解明されてはいない。少なくとも、その機序は単一ではなく個々の患者ごとに多様である可能性がある。

最近、肥満を有する気管支喘息患者の中にもいくつかのフェノタイプがあることが報告された。また日本人では、西洋人と比較してより低い BMI でも喘息が肥満関連因子によって修飾されることが判明した。肥満を有する喘息患者の治療にあたっては、その病態の多様性と人種差を考慮し個別の治療を検討していくことが重要であろう。

キーワード

肥満	obesity
気管支喘息	bronchial asthma
重症喘息	severe asthma
フェノタイプ	phenotype
人種差	ethnic difference

短縮タイトル

肥満と成人喘息